



第 10 号

岩江中だより

発行日：令和 6年 8月27日
 文責：三春町立岩江中学校長
 電話：0247-62-8290
 FAX：0247-62-8380
 Email：iwae-j@fcs.ed.jp

営のテーマ 『「生徒」・「保護者」・「教師」・「地域」の想いをかたちに』

残暑の中で、2学期がスタートしました。

酷暑が続いた37日間の夏休みが終了しました。休み中は暑さに加え、台風や地震などの自然災害に留意しながらの毎日でしたが、ご家庭におかれましては、お子さまの体調管理ありがとうございました。学校では生徒たちが部活動や学習に励んでいました。

2学期も充実した実りある学校生活が過ごせるよう教職員一同努めてまいりますので、引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。

【第2学期始業式】8月26日（月）

2学期のスタートは暑さや生活リズムの変化による体調不良が心配されましたが、無事に始業式ができました。各学年の代表生徒が1学期の学校生活や夏休みを振り返り、2学期の抱負を堂々と発表しました。

以下は、始業式での校長あいさつの一部を掲載いたします。

37日間の暑い暑い夏休みが終わりました。この夏休みは暑さだけでなく、台風や地震の懸念など自然の脅威を感じることはありましたが、みなさんそれぞれ心と体のリフレッシュできたと思います。そんな中、岩江中のみなさんは自身の部活動、合唱・駅伝の特設部、英語弁論、3年生の学習会、子ども議会など、あらゆる場面で活動・活躍をしました。

1学期の終業式に校長からみなさんに、夏休みに望むこととして、何かに「チャレンジ」してほしい。勉強でも家の手伝いでも、自分のため、他人のためになるものであれば、何でも構いません。と話しました。今、振り返ってみて、みなさんどうでしょうか？

今日は「過去は変えられない。未来は変えられる」という言葉を皆さんに紹介します。この言葉には、私たちがこれからどのように行動するかが未来を形作っていくというメッセージが込められています。

夏休み中に、みなさんそれぞれが様々な経験をしたことでしょうか。楽しい思い出があれば、少し後悔するようなこともあったかもしれません。しかし、過去の出来事は変えることができません。大切なのは、その経験から何を学び、未来にどう活かすかです。

例えば、勉強で苦手な科目があったとしても、過去の成績にとらわれず、未来に向けて努力を続けることで成果があらわれます。また、以前に友だちとトラブルがあったとしても、それを引きずるのでは何も変わりません。過去の出来事にとらわれず、新たな気持ちで関係を築き直すことはできます。これから未来に向けて前向きに行動することが、自分自身や集団全体の成長につながります。

2学期は一年の中で最も長い学期です。新人戦や緑風祭など、多くの挑戦が待っています。みなさんがこれからどのように取り組むかが、未来の自分を形作ります。失敗を恐れず、新しいことに挑戦し続けてください。みなさん一人ひとりが自分の未来を変える力を持っています。この2学期を通じてその力を存分に発揮し、素晴らしい未来を築いていきましょう。

「田村地区英語弁論大会・田村支部中体連駅伝競走大会・福島県合唱コンクール激励会」8月26日（月）



英語弁論はALTの先生から直接教えていただいたり、オンラインで練習をしたりしていました。特設駅伝や特設合唱は、1・2年生は自分の部活動の前後に、3年生は自分の学習に加えて練習を繰り返していました。先日の田村地区音楽祭では他校の校長先生から岩江中の合唱に感動したとお褒めの言葉をいただきました。がんばった成果が賞賛されとても嬉しく、誇らしく思いました。

英語、駅伝、合唱とそれぞれが練習を繰り返してきた成果を遺憾なく発揮して、悔いのない発表、走り、演奏を披露してほしいと思います。**頑張り 岩江中生！！**

